



ダイネドコースウェアの学習法

ダイネドの教材は従来の英語学習教材とは異なり、言語を自然にしかも短期間で習得できるようデザインされています。しかし新しい道具を使う時と同じように、この画期的な教材の効果的な使用法を知っておく必要があります。ここではその方法をご案内します。

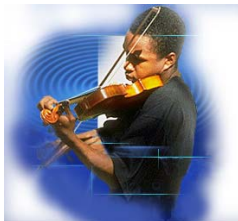
神経科学的な見地

言語学習とは？



学習すると脳にはある変化が起きます。電子科学的な変化や神経細胞間の新たな結合が生じることによって学習がなされます。コンピュータに入力した際、保存しなければデータは消えてしまいます。データを脳に保存することは脳の中にある変化を引き起こすことを意味します。変化には、すぐ起きるものもあれば、何日間あるいは何週間もかかって起きるものもあります。

言語学習とは技術を身につけること



語学を学ぶことは楽器を練習することと似ています。両方とも習得の秘訣は効果的な学習を頻繁にすることです。語学学習において、特にリスニングとスピーキングの能力はスピードを要します。聞いたり話したりする時は、テキストを読むときよりずっと短い時間で言葉を処理しなければなりません。単語や規則を思い出している時間などありません。反射的でなくてはなりません。この反射的な能力を身につけるためには、練習と繰り返しが不可欠で、しかもテキストの助けを借りずに行うことが大切です。

記憶とは？



記憶には色々な種類があります。例えば、単語や文章を繰り返して言うような場合、短時間の作業に必要な時だけ覚えていて、後になって忘れてしまいます。語学学習で、単語や文章を暗記する人がたくさんいますが、ある期間にわたってそれらを使わないと、せっかく学んだことが急速に消えていってしまいます。長期的な記憶は、作られるのに時間がかかるということが、研究で分かっています。何日間か何週間かにわたって、短時間の学習を頻繁にすることが能力を伸ばす最良の方法です。復習を絶えず行ない、何回も繰り返して学習することが語学習得への一番の近道なのです。

録音／再生の重要性



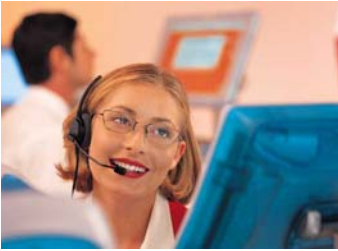
ある有名な神経科学者が、「**Neurons that fire together, wire together.**」と言いました。マルチメディアを使った学習の大きな利点の一つは、脳の色々な部分を同時に活性化することが可能だということです。レッスンを学習してよく理解できたら、各文章を声に出して言う練習をし、次にマイクロホンを使って自分のスピーキングを録音して速さ、アクセント、イントネーション、発音などをネイティブのスピーキングと比較する。このような練習は、脳の音韻体系をつかさどる部分を刺激し、反射的な応答能力と長期的な記憶力を養うのに役立ちます。毎回の学習時に、必ずこのような集中した練習を何分間か組み込むことが重要です。

テキスト表示機能を使う
危険性

Aa Bb Cc

リスニングとリーディングは全く異なる脳の回路を使います。リスニングとスピーキングの能力を養うには、英文テキストに頼らないことが最良の方法です。英文テキストの助けを借りると、まず最初に養うべきリスニングとスピーキングの能力の発達が妨げられます。学習する際、キーセンテンスが理解できて言えるようになるまで、英文テキストを見ないようにしてください。ほとんどの生徒が英文テキストを使う学習方法は効果的だと思いついていますが、使い始めるのが早すぎると、リスニングとスピーキングの伸びが遅れるということが、研究で分かっています。英文テキストの助けを借りる学習の方が楽かもしれませんが、効果的な学習方法ではありません。

練習の重要性



脳の研究や長期的な記憶の形成に関する研究は、反復練習が能力の発達にとっても重要であることを指摘しています。リスニングとスピーキングの能力は技術であって知識ではありません。これらの能力を養うには効果的な練習を要し、しかもその練習は定期的に、そして頻繁になさなくてはなりません。リスニングとスピーキングの能力を伸ばすには、考えたり思い出したりしなくても、反射的に言葉を解読できなければなりません。脳は十分な反復練習をした時にのみ、これができるように作られているのです。

学習時間を減らす方法



リサーチにより、頻繁に学習する方が総学習時間が少なくすむことが分かっています。復習を含めて週に何回も学習する方が、週に1回もしくは2回学習するより、はるかに効果的です。45分間の学習を3回する方が、一度に3時間学習するより効果的であるように、学習時間が長過ぎるのは、概して能率が悪く逆効果です。

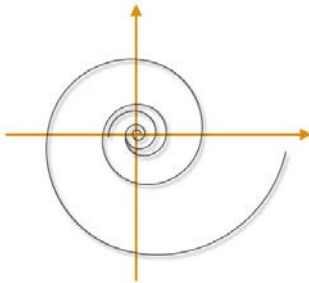
最良の学習法

効果的な学習



最も効果的な学習とは、1回の学習時にいくつかのレッスンをとりまぜて行うことです。1つのレッスンに時間をかけ過ぎると飽きてしまい、注意も散漫になります。集中することが大切です。あるレッスンではリスニングに焦点を当て、他のレッスンではスピーキングに焦点を当てます。レッスンによっては完璧に習得できるまで、あるいはレッスン全体の概要が楽に言えるようになるまで、毎日やらなければならないものもあります。これによって自信がつき反射性も養われます。

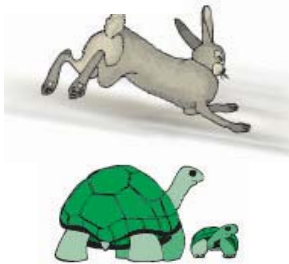
前進と復習



3週間前に学習したユニットは終了ですか。

いいえ、終了ではありません。常に復習をして、そこで学習した言葉がいつでも使えるようであればいけません。頻繁に復習をし、クラスでのアクティビティーをしっかりと行えば、今学習しているユニットの内容を2週間後でも当然理解して使うことができるはずです。復習は後戻りではありません。本物の技能を身に付けながら前進しているのです。復習をすることで、速く前進できるのです。言語の学習とは1つのことを学んで次に進むというものではありません。拡大する「らせん」のように、既にある知識の上に積み上げていき、しかも全体を使うということなのです。

急がば回れ



生徒がする最大の間違いは、各レッスンを速く終わらせてしまおうとすることです。十分な時間をかけて学習しないと、リスニングとスピーキングの能力を養うのに必要な基礎と自信を身に付けることができません。同じレッスンを日をかえて何度も学習し復習することで、最終的に進み方はずっと速く、テストの得点も向上します。このような方法で学習しないと学んだことを急速に忘れてしまいます。「習うより慣れろ」を覚えておいてください。

最良の学習法

理解が最初の第一歩



レッスンを理解できたら、ここからが始まりです。スピーキングの練習をしてください。毎回の学習時に5～10の文章を録音し、ネイティブのスピーキングと比較します。このような集中的な学習こそが言語習得の鍵であり、遅くたどたどしい話し方ではなく流暢に話せるようになる秘訣です。どのレッスンも、自信を持ってスラスラと言えるようになるまで練習してください。

練習は退屈

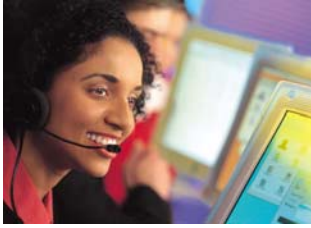


そうです。同じことを繰り返し練習するのは退屈かもしれません。しかし、新しい技術は練習なしで身に付けることはできません。自己規律と固い決意が必要です。効果的な練習をすれば、簡単なものから徐々に複雑なものまで、楽に聞き取り、話すことができるようになります。時間はかかりますが、練習回数が多ければ多いほどマスターするのにかかる時間は少なくて済みます。

練習を面白くするためには、学習した表現を自分自身のことに置き換えて言うてみることです。ダイネエドの教材で学習する表現はごく一般的なものです。教材の表現をマスターしたら、その表現を使って他の人と会話をしてみてください。それが語彙を増やすことにつながります。又、教材で扱った話題に関連した記述を読んだり書いたりして、リーディングとライティングの練習をすることも語彙を増やす効果的な方法の一つです。

最良の学習法

たどたどしい話し方



あなたのスピーキングが遅くたどたどしいのは、レッスンで学習した言葉を十分マスターしていないからです。最初から復習し直し、学習した表現を声に出して言う練習を毎日行ってください。そうすることで、自信を持って話すことができるようになります。クラスでの発表内容は良かったけれど、話すのが遅くつかえがちだった場合は、週を改めてもう一度してみてください。もっとよくできるよう努力してください。このような学習は、逆戻りではなく確かに前進するための道なのです。

4つの能力



語学学習は、まずリスニングから始め、次にスピーキングに移り、その後新しい語彙を増やしながらリーディングとライティングにより言語力を拡大していくのが最も効果的です。この4つの能力が相互作用して語学力を向上させます。

学習した表現を応用



ダイエドのコースで学習する表現はごく一般的なものです。それらは英語の基本的な表現なので確実にマスターしなければなりません。重要なのは、学習した表現を応用し自分自信に関して、またその他様々のことを述べる練習をすることです。こうすることで、机上の学習ではなく、言語が着実に身に付くようになり、また楽しく学習ができるようになります。授業のなかで、学習した表現を使って他の生徒と話すといいでしょう。コースウェアで学習した基本的な構文に加え、新しい語彙やよく使われる表現を学ぶ場にもなります。コースウェア、授業、個人の生活が一体となって初めて理想的な学習が可能になります。

言語の構造



木に例えると、英語における発想の仕方や文法は幹や枝で、語彙や表現は葉に相当します。枝が常に「運動をしている」と、「粘着力」を増し、新しい語彙、すなわち葉が枝に付きやすくなります。枝がしっかりしていないと付いた葉は簡単に散ってしまいます。きちんとファイリングされていないコンピュータから特定のデータを引き出すのが困難のように、言葉もラベルをつけて整理しておかなければすぐに思い出すことはできません。ダイネドのコースウェアを授業の教材として取り入れ、教師の指導のもとで学習する方法は、従来の方法に比べると、より速く木に葉を繁らせることができます。語彙とイディオムを暗記する方法は概して語学学習には効率の悪い方法です。と言っても、この方法は多くの人が当然のように使う方法で、これが語学を習得するのに膨大な時間を費やさなければならない理由の一つなのです。

最適なレベルで学習開始



DynEd Placement Level	Appropriate Courses
0.0-0.2 (Beginner)	New Dynamic English Module 1; First
0.5-0.7 (TOEIC 250-350)	New Dynamic English Mod 2; EFS U
1.0-1.2 (TOEIC 300-400)	NDE Mod 3; The Lost Secret; EFS U
1.5 (TOEIC 350-450)	NDE Mod 4; The Lost Secret; EFS U
2.0 (TOEIC 400-650)	NDE Modules 5&6; Functioning in Business; Dynamic Business English 1,2,3,4
2.5 (TOEIC 600-750)-TOEFL 600	NDE Mod 7; FIB; DBE 3,4,5,6; Test 1
3.0 (TOEIC 700-850)-TOEFL 650	NDE Mod 8; Test Mountain; Advanced
3.5 (TOEIC 800-950)	Advanced Listening; Test Mountain
4.0 (Advanced Non-Native Speaker)	

ダイネドのプレースメントテストを受けると、学習開始時にどのレベルのコースが最適かを判断できます。すなわち教材が難しすぎたり、易しすぎたりしないということです。初めて学習する言葉の意味や文法のパターンを、できるだけ英文テキストを使わずに推測してみてください。既に持っている知識を使って分からない部分を推測したり、代わりに言葉を用いたりできるはずですが、これができないようでしたら、自分に合ったレベルで学習していないということです。適切なレベルのレッスンを学習している場合、時々前のユニットの復習をして学習したことを着実に身に付けていってください。英語をマスターして自然に使えるようになることがゴールであって、ただ理解することではないことを忘れないください。使える能力とは反射的な反応のことをいいます。このことは全ての能力に関していえることですが、特にリスニングとスピーキングの能力にとっては重要なことです。

学習の要点

効果的な学習を頻繁に行うことが語学習得の鍵です。通常、短時間の学習を何回もする方が、長時間の学習をたまにするよりずっと効果があります。長時間の学習は疲れたり、注意散漫になるからです。また、次のレベルに上がるまでの総学習時間は、頻繁に学習する方が少なくてすみます。理想としては、楽器の練習をするのと同じように毎日25～45分、コースウェアを使って学習し、週に1～2回、授業で教師の指導を受けたりグループ学習をする方法が望ましいでしょう。こうすることで学習意欲を持続させることができます。

1つのレッスンを終了するのにかかる時間とエネルギーは、レベルや言語的背景、コースを主教材として使うか補助教材として使うかによって異なります。

以下の要領で学習を進めてください。

- (1) **Preview** : テキスト表示ボタンを使わずにレッスンの概要と全体の意味をつかみます。
- (2) **Comprehension** : 繰り返しボタンを活用して文を何回も聞き、内容の詳細を理解します。
- (3) **Language Focus** : この段階では、必要に応じて英文テキストと用語表をチェックしながら、文法や構文、そして新しい語彙に注目します。
- (4) **Language Practice** : 文章を声に出して言う練習をし、録音して自分のスピーキングをネイティブと比較します。
- (5) **Review** : 既に学習したレッスンの復習をします。
- (6) **Intermittent review** : 前に学習したことが完全にマスターできているか確認するために、周期的に復習します。


1回の学習時に1つのレッスンだけではなく、幾つかのレッスンを部分的に学習するようにしてください(学習経路を参照)。1つのレッスンを少しずつ何日間かに分けて学習する方が、1回の学習時に長い時間をかけて1つのレッスンを学習するより、効果的です。

注：リスニング力を上達させるには、あまり早くから英文テキストに頼らないことです。英文が見えていると、リスニングのプロセスは全く異なったものになります。文を何回か聴くまで、英文は見ないようにしてください。この学習方法が難しすぎる場合は、もっと易しい教材を使うか、前に学習したユニットを復習するようにしてください。

シャフラーレベルと学習進度

DynEdが誇る機能の一つに「シャフラー」があります。DynEd独自の「シャフラー」メカニズムが学習内容の幅を変化させ、難易度を自動調整します。シャフラーレベル（0.0～3.0）は学習中の質問に対する正解率によって上下します。学習を進め、正解率が高くなるとシャフラーレベルが自動的に上がり、より難しい文法や語彙、込み入った内容のレッスンになります。シャフラーレベルが2.0に達しない場合は学習内容が制限され内容の難しい部分は学習できないように設定されています。

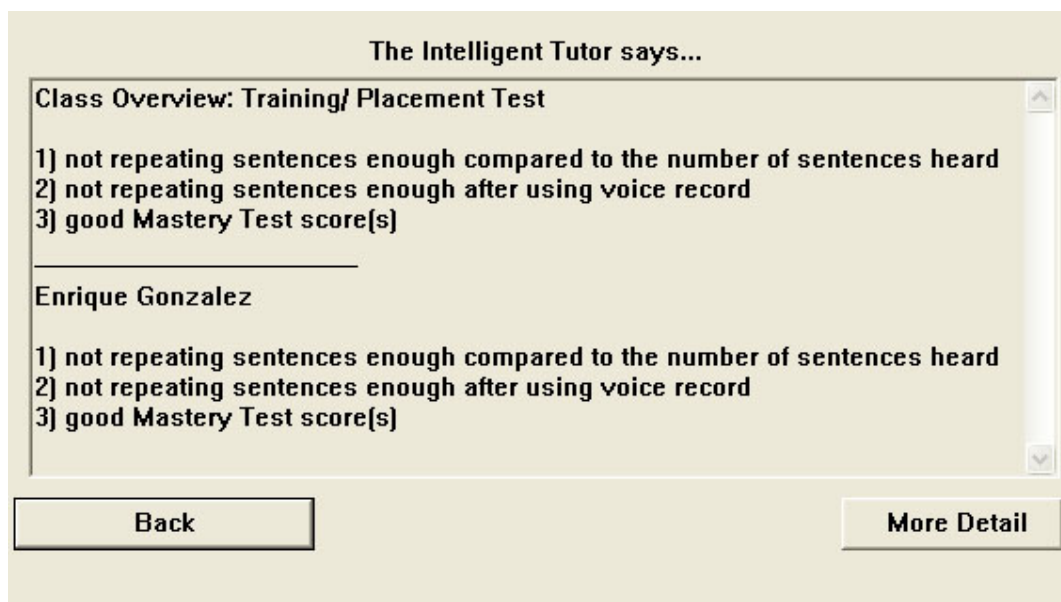
学習進度は、繰り返しボタンの使用回数、音声認識機能の活用度、録音再生ボタンの使用回数、用語表の使用回数、正解率などに基づいて換算され、生徒がどのくらい効果的な学習をしているかが把握できます。学習進度が100%ということは、目標学習量に達するまで学習したということであり、各レッスンで学習進度が80～85%に達するのが望ましいとされます。ここまで達しているということは、各機能を十分に活用してマスターするまで学習していることを意味します。学習進度を常に高く保つことにより語学を確実に習得することができます。

シャフラーレベルと学習進度は学習記録の中に表示されます。もしくは、メインメニューの左下に表示された学習記録アイコンにマウスを動かすと、各ユニットの番号の下に学習進度を示すメーターアイコン  が表示されます。シャフラーレベル、及び学習進度に関する詳細は「レコードマネージャーガイド」をご参照ください。

INTELLIGENT TUTOR

多くの生徒は「理解した」時点で目標達成と考えがちですが、語学学習は文法や語彙を理解するだけでなく、技能として習得しなければなりません。コミュニケーション能力と反射的な言語力は、予習、理解、練習、復習というサイクルで何度も繰り返して初めて習得できるのです。

ダイエドの「Intelligent Tutor」は、学習のデータを分析し、生徒の学習パターンを把握します。教師はこの機能を定期的にチェックして、生徒により効果的な学習方法をアドバイスしてください。この機能を利用することで、教師の時間を節約することもできます。詳細は「レコードマネージャーガイド」をご参照ください。



The Intelligent Tutor says...

Class Overview: Training/ Placement Test

- 1) not repeating sentences enough compared to the number of sentences heard
- 2) not repeating sentences enough after using voice record
- 3) good Mastery Test score(s)

Enrique Gonzalez

- 1) not repeating sentences enough compared to the number of sentences heard
- 2) not repeating sentences enough after using voice record
- 3) good Mastery Test score(s)

Back **More Detail**

コースウェアの使い方

ダイノエドのコースウェアは、誰でも簡単に使えるようデザインされています。但し、学習を開始する前にそれぞれの機能の使い方を十分に知っておく必要があります。詳細はユーザーズガイドをご覧ください。


コントロールバー




コントロールバーは学習中、画面下部に表示され、以下のことが可能です。


- レッスンを終了
- プログラムの一時停止
- 録音と再生
- 文章を繰り返し聞く
- 英文テキストを表示し語彙表にアクセス


コントロールバーのボタンを有効に使うことで学習に集中でき、自分のペースで進めることができます。最初の段階で各々のボタンの使い方をマスターしてください。ボタンの機能を把握し上手に使うことは、効果的な学習につながります。以下は各ボタンの機能の説明です。


 繰り返しボタン：ここをクリックすると文を何回でも聞くことができます。


 一時停止ボタン：ここをクリックすると、ボタンが緑色に点滅した状態でプログラムは一時停止します。質問に答えるのもう少し時間が欲しい時などに使ってください。点滅しているボタンをクリックするとプログラムは再開します。


コントロールバーのどのボタンをクリックしても一時停止ボタンが点滅します。ボタンが点滅している間は、再度このボタンをクリックしてこちらからもう一度再開するよう指示を出すまで先に進むことはありません。


 テキスト表示ボタン：学習中、ここをクリックすると英文が表示されます。文中のハイライトされた語句をクリックすると用語表が表示されます。


 録音・再生ボタン：録音ボタンをクリックすると自分の声を録音できます。ボタンがハイライトしたら録音を開始し、スピーキングが終わったらもう一度クリックして録音を止めてください。次に再生ボタンをクリックして自分のスピーキングを聞き、ネイティブと比較してください。

 終了ボタン：学習中、このボタンを使うといつでもレッスンを終わらせることができます。他のレッスンに移りたい時、又プログラムを終了したい時はこのボタンをクリックしてください。

 巻き戻しボタン：1つ前の文に戻ることができます。

 早送りボタン：次の文に進むことができます。質問をされている時は、このボタンは使えません。プログラムは質問に答えるまで一時停止します。

 タイマー：質問に答えたりスピーキングの練習をする時は、このタイマーで時間の経過を確認できます。

 翻訳ボタン：英文の意味が分からない時、このボタンをクリックすると翻訳文が表示されます（日本語の国旗の場合日本語訳が表示されます）。

プルダウンメニュー

ダイナエドのプルダウンメニューは学習中、画面上部に表示され「ファイル」「オプション」「音声認識」「ヘルプ」があります。

ファイルメニュー

「コースの変更」を開くと、プログラムを終了せずに学習しているコースを他のコースに変更できます。

オプションメニューは以下のことが可能です。

- 学習記録の表示
- 用語集にアクセス
- コンピュータの音量を調整
- 文と文の間隔を調整

学習記録

学習記録は、各レッスンでの学習時間、学習回数、学習進度、得点、シャフラーレベルなどを表示します。教師はレコードマネージャーを利用して全生徒の学習記録にアクセスすることができます。

用語集

アルファベット順に並んだ単語が表示され、用語表にアクセスできます。また、学習中に英文テキストを表示させ、ハイライトされた語句をクリックすると、その語句の用語表が表示されます。

設定／レベル

ここでは、音量調整と文と文の間隔調整ができます。

音量調整：マイクロホンの音量とコースの音量が調整できます。

間隔調整：コースで学習する文章は、英語圏で使われている自然な話し方であり、速くしたり遅くしたりはできませんが、文と文の間隔は調整することができます。間隔が長いと、聞いた文章をプロセスする時間があり、コントロールバーのボタンを利用し易くなります。

音声認識

ここでは、音声認識機能を「on」、又は「off」に設定したり、レベルを設定できます。音声認識に関する詳細はヘルプメニューの「音声認識」、もしくは学習ガイドをご参照ください。

ヘルプ

ヘルプメニューではマニュアル、音声認識に関する詳細、レッスンに関する説明、学習の秘訣などにアクセスできます。

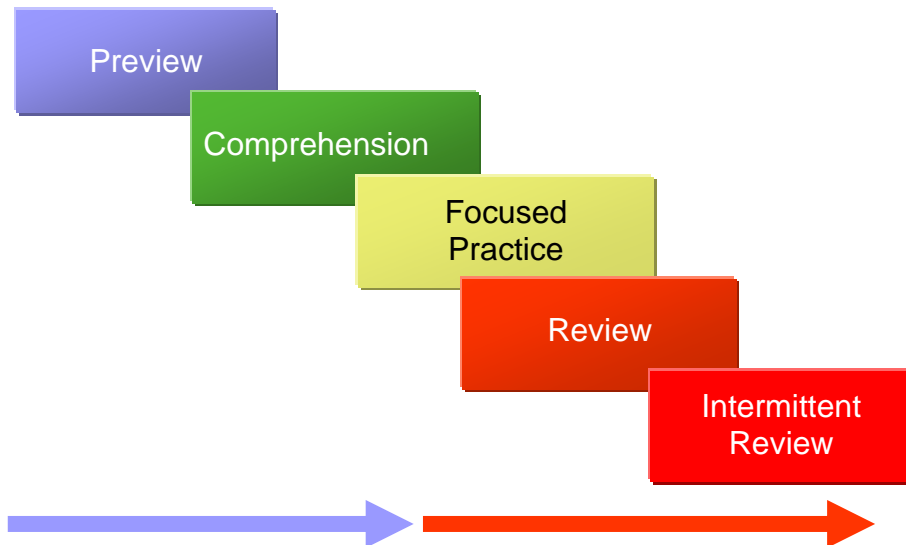
コース及びモジュールの変更

ファイルメニューでは、「コースの変更」を開くと、プログラムを終了せずに学習しているコースを他のコースに変更できます。また、幾つかのコース (Let's Go、Dynamic Business English) は、モジュールやユニットも変更できます。その場合は、ファイルメニューの「モジュール／ユニットの変更」を開いてください。

学習経路

語学学習に関して多くの場合、「理解した」時点で目標達成と考えがちですが、「理解」は第一段階です。語学力の中で特にリスニングとスピーキングは練習の積み重ねによって身につく技能です。

教師は、以下の図に示されたような順序で繰り返し学習するよう生徒に指導してください。以下のような順序での学習が最も効果的な方法です。



- (1) **Preview** : テキスト表示ボタンを使わずにレッスンの概要と全体の意味をつかみます。
- (2) **Comprehension** : 繰り返しボタンを活用して文を何回も聞き、内容の詳細を理解します。
- (3) **Language Focus** : この段階では、必要に応じて英文テキストと用語表をチェックしながら、文法や構文、そして新しい語彙に注目します。
- (4) **Language Practice** : 文章を声に出して言う練習をし、録音して自分のスピーキングをネイティブと比較します。
- (5) **Review** : 既に学習したレッスンの復習をします。
- (6) **Intermittent review** : 前に学習したことが完全にマスターできているか確認するために、周期的に復習します。

効果的な学習方法として更にお勧めするのは、1回の学習時に同じアクティビティーだけをするのではなく、異なるアクティビティーを4〜6分の短い時間に分けて行うことです。例えば、1日の学習時間である30分を予習だけに費やして、次の日の30分を復習だけに費やすのではなく、様々なアクティビティーを行ってください。また、1回の学習時に同じレッスンや同じユニットをするのではなく、幾つかのレッスンやユニットを部分的に学習するようにしてください。